

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳少年自然の家  
 所管課 教育委員会 生涯学習課  
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

## 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	291,728,000
公益財団法人 山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	486,308,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	485,434,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	383,491,814
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	R5.4.1	～	R9.3.31	4年	421,141,000

## 2 施設の概要

所在地	北杜市高根町清里3545
設置年月日	昭和48年8月21日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成することを目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探究その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約44ha ○建物面積 約5,565.42㎡ ○施設の内容 ≪管理棟≫ ・講堂(200人) ・ステージ ・第1研修室(44人) ・展示室 ・図書室 ・食堂 等 ≪研修棟≫ ・第2研修室(70人) 第3研修室(30人) 第2、第3研修室オープン利用(100人) 等 ≪体育館≫ ・1階(760㎡)、2階(24㎡) ≪宿泊棟≫ ・宿泊室(小):8室(6人用、23㎡) ・宿泊室(大):20室(8人用、23㎡) ・浴室 等 ≪観測棟≫ ・プラネタリウム ≪キャンプ場≫ ・キャンプセンター 全4サイト
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	R4.3.14 八ヶ岳少年自然の家集約化工事(134,083千円) R4.3.22 八ヶ岳少年自然の家野外炊事場建築工事(12,117千円)

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

## 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	102,056,677	92,454,533	97,866,660	106,947,297	111,067,229	
支出合計	104,361,283	91,799,522	94,415,241	95,337,181	111,452,648	
収支差額	△ 2,304,606	655,011	3,451,419	11,610,116	△ 385,419	

## 4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	37,282人	14,621人	15,328人	28,857人	37,803人	
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

## 5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が収束し、5月に5類感染症に移行したことにより、学校および青少年団体、一般団体等の利用が増加し、利用者数は37,803人となり、昨年度の28,857人に対して約8,900人増加した。利用者が安心して施設を利用していただけよう、職員による巡回、修繕等の対応を徹底しながら施設運営に努め、利用者の利便性の向上を図った。また、利用者のニーズを反映したプログラム開発および事業の実施により、利用促進に繋げることができた。しかし、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策として本館利用を1日3団体までとし、宿泊可能人数を制限していたため、目標値の40,000人に達することはできなかった。

## 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

施設の維持管理、運営業務は、業務仕様書や業務計画書に基づき適正に実施されており、利用者満足度も高い。  
一方、利用者数については、新型コロナウイルス感染症対策による人数制限の影響もあり、目標値40,000人を下回った。施設として、魅力的な事業を実施して閑散期の利用者増を目指しており、今後の活動に期待する。  
今後も、新規利用者獲得につながるよう、積極的かつ効果的な施設のPRに取り組むこと。

## 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

施設の維持管理、運営業務は、業務仕様書や業務計画書に基づき、引き続き適正に実施していく。令和6年度の利用予約については人数制限を解除し、受け入れ人数の増加を図っている。また、令和6年度においては、魅力的な事業を実施するとともに、新規利用者の獲得に向け施設PRを積極的に行っていく。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳少年自然の家  
 所管課 教育委員会 生涯学習課  
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

## 1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	宿泊棟利用	28,051	9,371	12,619	22,667	26,100
	キャンプ場宿泊利用	3,244	442	1,187	3,768	5,418
	日帰り利用	5,987	4,808	1,522	2,422	6,285
	利用者数合計	37,282	14,621	15,328	28,857	37,803
	目標値	40,829	40,931	15,352	29,688	40,000
	実績/目標割合	91.3%	35.7%	99.8%	97.2%	94.5%
	目標値の設定方法	H30年度:前年度目標値の2%増 R1年度:H26からH29年度の延べ利用者数平均の約0.25%増 R2年度:前年度目標値の約0.25%増 R3年度:R2年度の実績値(14,621)×1.05 令和4年度:R4年3月時点の予約状況を基に算出およびH29~H30年度日帰り利用の平均×81%増 令和5年度:H28からH30年度(新型コロナウイルス感染症の影響のない期間)の延べ利用者数平均(約39,300名)の約1.8%増				
利用率	稼働率等(利用率)	63.6%	34.2%	63.3%	59.2%	63.2%
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べ宿泊室利用日数/利用可能宿泊日数				
利用率	稼働率等(利用率)	37.5%	10.7%	18.6%	37.5%	45.8%
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べキャンプ場利用日数/利用可能日数				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

## 3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県 体育館電気工事	2,475,000
県 自動火災報知設備修繕他1件	1,230,900
管 キャンプ場給湯器修繕	415,910
管 小便器修繕	396,000
管 本館女子脱衣室間仕切壁・洗面器修繕 他18件	1,628,218

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施  
 \*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	公募	売上金額の25%	214,518	



## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

### 6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	甲斐児わいわい紀行	小学5・6年	八ヶ岳少年自然の家
2	ナイトプログラム支援事業	施設利用者	八ヶ岳少年自然の家
3	「北杜市放課後子ども教室」(地域連携事業)	北杜市放課後子ども教室	北杜市内小学校
4	冬を楽しむアクティビティ	どなたでも	八ヶ岳少年自然の家
5	甲運小学校区放課後子供教室	甲運小学校放課後子供教室	甲運小学校
6	利用者支援サービス	施設利用者	八ヶ岳少年自然の家
7	施設活性化事業	周辺団体	八ヶ岳少年自然の家
8	各種機関連携事業	関係機関	八ヶ岳少年自然の家 他
9	八ヶ岳少年自然の家開所50周年記念事業	どなたでも	八ヶ岳少年自然の家

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

## 7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和5年4月～令和6年3月 実施方法: 施設利用者へのアンケート 回答数: 237団体			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①ねらいや目標の達成	82.8%	16.7%	0.5%	
②施設運営	86.9%	11.4%	1.5%	0.2%
③職員対応	94.1%	5.0%	0.9%	
④活動(プログラム)	92.7%	6.7%	0.6%	
⑤食堂・食事	86.4%	11.8%	1.4%	0.4%
⑥プログラム相談	71.0%	25.9%	3.1%	
施設全般の満足度	93.0%	7.0%		
利用者の主な意見	<p>【施設の運営について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物置き場がもう一つ欲しかった。</li> <li>・入浴時間がもう少しあると助かる。</li> </ul> <p>【活動プログラムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に下絵を描いてくるという助言のおかげで、当日はスムーズに進めることができた。</li> <li>・体育館は空気を循環できるものが欲しい</li> </ul> <p>【食堂・食事関係について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数校で利用する場合は、事前に学校ごとに場所を指定して欲しい。</li> <li>・おかずがもう1品欲しい。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプサイトで消灯時間後に大声で話したりする声がサイトに響いた。</li> <li>・改修でとても快適になった。</li> </ul>			
利用者の意見への対応	<p>【活動プログラムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物置き場は、利用団体の規模に応じて割り振りをしているが、今後荷物置き場を増やすよう検討していく。</li> <li>・入浴時間については、利用団体の構成人数、活動内容により調整している。できる限り団体の意向を拝聴したうえで調整を進めているが、団体の希望に添えない場合もあることをご理解いただく。</li> </ul> <p>【活動プログラムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も当日スムーズに活動できるよう、情報提供を行う。</li> <li>・工場用扇風機(大型扇風機)を設置し空気循環させる。</li> </ul> <p>【食堂・食事について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂にこのような意見があることを伝え、対応を依頼する。</li> <li>・現在のメニュー以外に大人向けメニューを提供するか検討していく。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム相談時に消灯時間の厳守を伝えているが、当日も厳守するよう改めて強く伝える。</li> <li>・施設運営もより良くなるよう、職員一同努めていく。</li> </ul>			

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

### 8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>業務仕様書に基づいて施設の維持管理業務を行った。職員による毎日の巡回点検により、設備の不具合や欠陥等の早期発見に努めるとともに、軽微な修繕等については迅速に対応し、業者対応が必要な修繕についても、迅速に業者へ依頼し、利用者が安心して利用できる施設運営に努めた。</p> <p>また、屋外の活動エリアについては、利用者が安心して安全に活動できるよう、枯枝や倒木、落石等の撤去作業を随時行うことで、事故防止を図った。</p>	<p>法定点検業務等施設の維持管理業務が、業務仕様書及び業務計画書に基づき適正に実施されている。</p> <p>故障や破損等への迅速な対応ができるよう、専門業者の点検だけでなく、今後とも職員による定期的な巡視・点検を継続し、引き続き利用者の安全確保に努めること。</p>
運営業務	<p>利用者の立場に立ち、利便性や快適性を考慮したサービスの提供に努めた。</p> <p>プログラム相談会では、それぞれの団体が考える利用の目標を達成できるよう職員が指導・助言を行った。</p> <p>主催事業に関しては、参加者が満足できるよう、充実した活動内容に努め、21事業を実施した。</p>	<p>運営業務は、業務仕様書、事業計画書に基づき適切に実施されている。</p> <p>主催事業については、利用者の満足度も高い。今後も利用者のニーズ把握に努めるとともに、参加者が募集定員をやや下回った事業については、広報の工夫を検討すること。</p>
利用状況	<p>令和5年度の利用者数は37,803人で、昨年度より約8,900人増加した。新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に分類されたことにより、学校だけでなく、ボーイスカウトやガールスカウトなどの青少年団体、一般団体がコロナ以前の活動に戻ったことが、増加の主な要因と考える。また、主催・自主事業の参加者においても、多くの事業で定員数に達することができた。県内小学校、保育園・幼稚園へのチラシの配布やHP、SNSでの情報発信など、広報の拡充を図ったことが利用促進に繋がったと考える。</p>	<p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、利用者数は令和4年度よりも増加した。</p> <p>今後も新規利用者獲得につながるよう、積極的に施設のPRを行うこと。</p>
収支状況	<p>利用者数の増加に伴い、収入においても昨年度より約110万円増加した。</p> <p>また、支出についてはエアコンの使用方法的工夫などを行いながら、光熱費の削減に努めるなど、経費削減を職員間の共通認識とし、徹底を図った。</p>	<p>今後も、サービスの質を低下させないよう留意しながら、使用方法の工夫等により支出経費削減に務めること。</p>
自主事業	<p>令和5年度は10事業実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度まで中止していた「甲斐児わいわい紀行」の実施、開所50周年を記念し実施した「八ヶ岳少年自然の家開所50周年記念事業」や、閑散期の利用促進を目的に実施した「冬を楽しむアクティビティ」など多種多様な事業を実施し、自然の家の周知を図り、利用促進に繋がった。</p>	<p>魅力的な事業を多く実施し、閑散期の利用促進を目的とした事業も実施した。</p> <p>今後もより一層の工夫を期待する。</p>

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

利用者満足度	<p>利用者からの指摘事項や対応状況については、朝礼や毎月の職員会議の中で確認し、職員間で情報の共有を図りながら、迅速に対応した。</p> <p>利用者の意見や要望に対して、迅速かつ丁寧な対応に努め、安全で安心できる施設運営を行った。</p>	<p>利用者満足度は、いずれの項目でも高い評価を得ている。</p> <p>利用者からの指摘事項については今後も迅速に対応し、利用者の意見やニーズを踏まえた運営をすること。</p>
--------	---	---

### 9 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
施設の利用促進業務	<p>【指標】プログラムの開発数(既存の見直しを含む)</p> <p>【目標値】4プログラム(既存プログラム数の1/10)</p> <p>【実績】4プログラム。目標を達成できた。</p>	引き続き、プログラムの開発や見直しに努めること。
施設の特色・立地条件等を生かした事業の実施	<p>【指標】事業数</p> <p>【目標値】21(事業計画における事業数)</p> <p>【実績】20事業。天候により、やむを得ず実施できなかった事業が1事業あり、目標に届かなかった。</p>	天候による事業の中止はやむを得ないものであるが、悪天候の場合の代替案を考えること。
少年団体指導者等を対象とした研修・研究事業の実施	<p>【指標】研修参加者数</p> <p>【目標値】64人(R4年度実績×1.05)</p> <p>【実績】95人。目標値を上回った。</p>	引き続き、研修参加者数の増加に努めること。
閑散期(11月～3月)の利用拡大	<p>【指標】閑散期の利用者数</p> <p>【目標値】4,400人(R4年度実績値×1.05)</p> <p>【実績】7,030人。目標値を上回る実績をあげた。</p>	引き続き、閑散期の利用促進に努めること。



指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

